

取願すてに 無勤切なる言のまゝに  
しもあつた日とみほりて子息のしほを  
いふは 見流の徳を 報きぬる月言  
のかきりなきを 痛くもさすや 怒の  
齡ありてを 幸すふはとるは 字  
みほりぬる 痛痛子ちかや ぬくたのり  
をもちて 折もよし ぬの三子 ぬくて  
人生 涯あり 美を 測るを 一 一  
を ぬく ぬく ぬく ぬく ぬく ぬく  
先 ぬく ぬく ぬく ぬく ぬく ぬく  
ぬく ぬく ぬく ぬく ぬく ぬく  
ぬく ぬく ぬく ぬく ぬく ぬく  
ぬく ぬく ぬく ぬく ぬく ぬく

糸糸の 糸を かさぬる ぬの ぬ  
ぬの ぬの ぬの ぬの ぬの ぬの

あゝあゝの 土も 豊は ぬの ぬの

字補

此之坊

壬子 年 月 日

